研究機関名：旭川医科大学

| | |
|---|---|
| 承認番号 | 16113 |
| 課題名 | 線量率の違いによる頭頸部強度変調放射線治療(IMRT)の照射精度の検証 |
| 研究期間 | 倫理委員会承認日～2017 年 3 月 31 日 |
| 利用する情報、検体 | ☑診療情報（詳細：頭頸部 IMRT の患者の治療計画のデータ）<br>□手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：　　）<br>□血液<br>□その他（　　） |
| | ※以下の期間に収集した情報、検体が対象となります<br>西暦 2015 年 3 月 1 日　～2016 年 6 月 30 日 |
| 研究の意義、目的 | 周囲の正常組織に当たる放射線の量を最小限に抑えながら、がん治療を行う照射方法である強度変調放射線治療（IMRT）は低い線量率が推奨されています。しかし、高い線量率を選択することにより治療時間の短縮につながり、患者さんの負担軽減にも繋がると考えます。特に頭頸部領域の患者さんは痰や咳などで放射線治療を中断することがあり、治療時間を短縮することのメリットが大きいと思われます。今回、当院の直線加速器（TrueBeam）において高い線量率に変えた場合の照射精度の影響を検証します。 |
| 研究の方法 | 治療計画装置（Eclipse）で頭頸部強度変調放射線治療（IMRT）の治療プランを 6 症例について、それぞれ 300、400、500、600MU/min の 4 種類の線量率で作成しました。評価方法は、3 次元検出器（Delta4）を使用し、それぞれの線量率で線量誤差と位置誤差を評価できるガンマ解析という方法で解析を行います。また、治療ビームを照射し画像を取得することができる装置を用いて取得した画像を解析し比較評価します。 |
| その他 | |
| 個人情報について | 利用する情報、お名前や住所など、個人が特定できる情報は削除して取り扱いますので、個人情報が外部に漏えいすることはありません。研究成果発表（学会発表、学術論文への投稿）の際にも、個人が特定できる情報は利用しません。 |
| 問い合わせ等の窓口 | 所属：診療技術部　放射線技術部門<br>氏名：山田　裕樹<br>電話番号：0166-69-3434 |